

第6章 計画の推進

1 協働による計画の推進

個人の尊厳を守り、それぞれの個性を認め合いながら、多様化、複雑化した福祉課題、生活課題を解決していくことは、行政や一部の専門機関の取組だけでは困難な状況であり、市民一人ひとり、地域の活動団体等の力が不可欠です。

そのため、市民、地域の活動団体、民生委員・児童委員、福祉員、事業者、下関市社会福祉協議会、下関市など、あらゆる主体が積極的に役割を果たし、地域社会全体で経験や知恵を結集し、協働により計画の実現に向けた取組を推進します。

(1) 市民の役割

市民は福祉サービスの利用者であるとともに、地域福祉の担い手でもあります。市民一人ひとりが、地域の人とかわかり、地域福祉についての理解を深めるとともに、自らが身近な地域で何ができるのか考え、主体的に地域の福祉活動に参加することが求められています。

(2) 地域の活動団体の役割

自治会や地区社会福祉協議会、ボランティア・市民活動団体、NPO 団体、民生委員・児童委員、福祉員等の地域の活動団体は、それぞれがもつ特性や専門性を活かすとともに、きめ細やかな活動により、公的なサービスでは対応できない地域の多様な生活課題を、解決することが求められます。

(3) 社会福祉法人・社会福祉事業者の役割

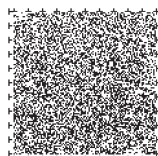
福祉サービスの提供者として、市民のニーズに積極的に応え、利用者の自立支援、サービスの質の確保、利用者保護、情報提供・公開をはじめ、関係機関や他のサービス事業者との連携の中で、包括的なサービスの提供が求められています。

また、専門的な知識・技術を活かした地域福祉活動への支援が期待されています。

(4) 下関市社会福祉協議会の役割

地域福祉の推進を担う団体として、社会福祉を目的とする事業の実施、地域福祉活動への市民参加の促進など、地域に密着した様々な事業を推進します。

また、地域福祉の推進・調整役として、地域の様々な福祉課題、生活課題を的確に把握し、市民の生活を支援していくための活動を推進するとともに、地域の活動団体、民間福祉団体の先導役として、連携強化を図ります。



(5) 市の役割

市は、地域福祉の推進に向け、常に地域の実態や市民ニーズを把握するとともに、市民や地域の活動団体などの自主的な活動が促進されるよう、情報提供や関係機関との連携、交流機会の確保など、基盤整備を推進します。

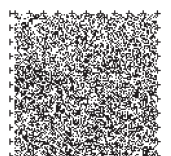
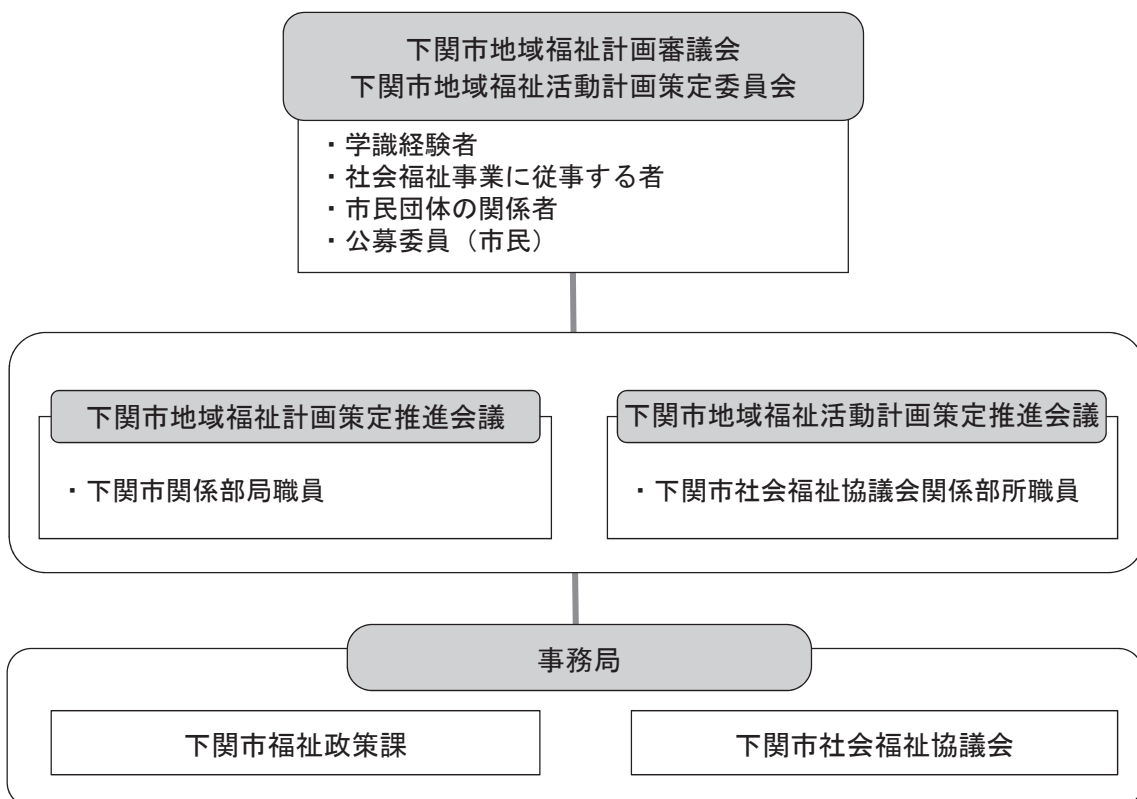
また、本計画の基本理念に則り、地域福祉を推進するための取組を下関市社会福祉協議会と一体となり、市民、地域の活動団体、民生委員・児童委員、福祉員、事業者等と協働で推進します。

2 計画の推進体制と評価の方法

下関市の関係部局職員で構成される「下関市地域福祉計画策定推進会議」及び下関市社会福祉協議会の「下関市地域福祉活動計画策定推進会議」において各計画の進捗状況を管理するとともに、連携を図りながら計画の推進に取り組みます。

また、取組状況をホームページ等で公表するとともに、「下関市地域福祉計画審議会」、「下関市地域福祉活動計画策定委員会」へ本計画の取組状況を報告し、評価、意見を求め、次期計画の策定に向けて反映させます。

【計画の推進イメージ図】



3 計画の周知・啓発

地域福祉の推進において、本計画の目指す地域福祉の方向性や取組について、市民、地域の活動団体、民生委員・児童委員、事業者、社会福祉協議会、下関市など、計画にかかわるすべての人が、共通の認識をもつことが重要です。

下関市、下関市社会福祉協議会の広報紙やホームページ、地域における様々な機会を通じて、本計画及び地域福祉の重要性についての周知・啓発を図ります。

4 地域福祉の更なる連携に向けて（地域福祉連携組織の設置）

国においては、子ども・高齢者・障害者などの全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が提唱されています。（「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定））

この地域共生社会の実現を確実なものとするため、住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり及び世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくり（「我が事」「丸ごと」の地域づくり）が進められようとしているところです。

少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりが希薄化する中、地域の一層の連携を図り、住民の孤立を防ぐとともに課題や困難を抱える方が相談支援につながる体制づくりを推進するため、関係機関・団体等への働きかけや情報の収集、整理、周知を図る新たな組織を設置します。

5 成果指標

基本目標	指標	現状値*	目標の方向
1 “ふれあいの人づくり” 地域みんながふれあい、笑顔で支え合う心を育てよう	地域の活動やボランティア・NPO活動に参加していると回答した人の割合	27.5%	↗
	地域の暮らしや福祉に関する情報が十分に入手できると感じていると回答した人の割合	37.8%	↗
2 “ささえあいの輪づくり” 地域みんなが連携し、お互いに助け合える仕組みをつくろう	「地域における支え合い」を感じることができると回答した人の割合	51.7%	↗
3 “あんしんの地域づくり” 地域みんなが健やかに安心して暮らせる環境をつくろう	地域の暮らしや福祉に関する相談体制に満足していると回答した人の割合	29.2%	↗

* 平成29年度市民アンケート

